

2019年5月15日

日立アドバンストサーバ「HA8000V シリーズ」の4モデルで 最新のプロセッサとメモリーをサポートし販売開始

最新の第2世代インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサおよびインテル® Optane™ DC パーシステント・メモリーの搭載により、さまざまな業務システムでの性能要求に対応



日立アドバンストサーバ
「HA8000V/DL360 Gen10」



日立アドバンストサーバ
「HA8000V/DL380 Gen10」

株式会社日立製作所（以下、日立）は、このたび、PCサーバである日立アドバンストサーバ「HA8000V シリーズ」の4モデル^{*1}において、最新の第2世代インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサ、およびインテル® Optane™ DC パーシステント・メモリー（以下、DCPMM）^{*2}を新たにサポートし、5月31日から販売開始します。

今回のサポートにおいては、第2世代インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサの搭載により高性能を重視したシステムから高コストパフォーマンスを重視するシステムまで、幅広く対応する処理性能を実現しました。また、DCPMMの搭載により大容量かつ低レイテンシ^{*3}なシステムが実現可能となりました。これらの特長により、ニーズに応じた処理性能とコストパフォーマンスの向上が可能となり、AI やリアルタイム分析など、さまざまな業務システムでの性能要求に対応します。

*1 対象は HA8000V/DL580 Gen10、HA8000V/DL380 Gen10、HA8000V/DL360 Gen10、および HA8000V/ML350 Gen10 の4モデル

*2 パーシステント・メモリー:記憶データに永続性のあるメモリー

*3 レイテンシ:データ転送要求を出してから実際にデータが送られてくるまでに生じる通信の遅延時間

なお、第2世代インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサを搭載した HA8000V を適用した「日立ハイパーコンバージド インフラストラクチャ ソリューション」を2019年度第1四半期から提供開始予定です。

さらに、DCPMMを搭載した HA8000V と組み合わせることで、データの永続化とアクセス高速化を両立するソリューションを実現する日立インメモリデータグリッド製品(Hitachi Elastic Application Data Store)を、2019年度第3四半期に提供予定です。

■今回の発表の概要

1. 第2世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサの採用で、さまざまな業務システムでの性能要求に対応

最新プロセッサである第2世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサの搭載により、最大メモリー周波数を2933MHzへ向上してメモリーのスループットを向上したほか、AI処理の高速化機能が盛り込まれるなど、さらなる性能向上を実現しました。AI やリアルタイム分析、クラウド向けの高い処理性能を備えた

インテル® Xeon® Platinum プロセッサから、高いコストパフォーマンスを発揮する小規模ビジネス向けのインテル® Xeon® Bronze プロセッサまでを幅広くサポートし、さまざまな業務システムでの性能要求に対応できます。

2. インテル® Optane™ DC パーシステント・メモリー (DCPMM) の搭載*4で、メモリーの大容量化やデータアクセスの高速処理まで、ニーズに応じたシステム性能向上が可能

DCPMM はインテル 3D Xpoint™ テクノロジーを活用した大容量、不揮発性の特長をもち、メモリースロットに搭載可能な新しいメモリーです。

DCPMM のメモリーモードにおいては、従来の DRAM と比較してコストパフォーマンスの高い大容量メモリーとして利用でき、従来比で約 2 倍*5 の 1 プロセッサ当たり最大 3.0TiB のメモリーが搭載可能で、多数の仮想マシンで構成される仮想化システムなどでコストを抑えたメモリーの大容量化が可能です。また、DCPMM の AppDirect モードにおいては、SSD や HDD よりも低レイテンシな不揮発性ストレージとして利用可能であるため、データアクセス時の高速処理が求められるデータベースシステムなどで、システム性能向上が図れます。

*4 DCPMM 搭載モデルは 2019 年度第 2 四半期に販売開始予定

*5 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサ、LRDIMM搭載時との比較

3. ハードウェア保守サービスメニューを拡充し、より柔軟な保守サービスの選択が可能

今回新たに、ハードウェアの月額保守サービス*6を設けました。従来の製品一体型の保守のみならず、初期導入コストを抑えることが可能な月額保守にも対応することで、最大 7 年間のハードウェア保守サービスなど、ニーズに応じた柔軟な選択を可能とし、お客さまシステムの安定稼働を支援します。

*6 月額保守サービスは 2019 年度第 2 四半期に販売開始予定

なおこのほか、複数サーバの同時導入時に、サーバ間のファームウェアバージョンを統一するサービス*7などのメニューも新設し*8、お客さまの導入・構築支援を強化します。

*7 適用対象は Service Pack for HA8000V

*8 新メニューは 2019 年 7 月以降に順次販売開始予定

■今回発表した 4 モデルの主な仕様と価格

製品名称	仕様概要	価格 (税別)
HA8000V/DL580 Gen10 (ラック型)	プロセッサ: 第 2 世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサ インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサ メモリー: 最大 6.0TiB/4 プロセッサ(LRDIMM*9 搭載時) 最大 12.0TiB/4 プロセッサ(DCPMM 搭載、メモリーモード時)*10	2,424,000 円～
HA8000V/DL380 Gen10 (ラック型)	プロセッサ: 第 2 世代 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサ インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサ メモリー: 最大 3.0TiB/2 プロセッサ(LRDIMM*9 搭載時) 最大 6.0TiB/2 プロセッサ(DCPMM 搭載、メモリーモード時)*10	791,000 円～
HA8000V/DL360 Gen10 (ラック型)		705,000 円～
HA8000V/ML350 Gen10 (タワー型)		588,000 円～

*9 LRDIMM:Load Reduced DIMM

*10 DCPMM 搭載モデル(HA8000V/ML350 Gen10 を除く)は 2019 年度第 2 四半期に販売開始予定

■日立アドバンストサーバ「HA8000V シリーズ」について

「HA8000V シリーズ」は、幅広いシステム規模や用途に適用可能なラインアップをそろえ、変化し続けるビジネスニーズに即応できる日立の PC サーバです。新技術の迅速な採用や拡張オプション品の拡大、効率のよい導入と運用の容易さで、コストを抑えながらビジネス価値とスピードの向上を支援します。

関連サイト

[日立アドバンストサーバ HA8000V シリーズ](#)

商標注記

- ・インテル、Intel、Xeon、Intel Optane および 3D XPoint は、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
- ・その他、記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

お問い合わせ先

HCA センター

電話：0120-2580-12 (受付時間：9:00-12:00、13:00-17:00 土・日・祝・当社休業日を除く)

お問い合わせフォーム：<https://www.hitachi.co.jp/ha8000v/inq/>

以上